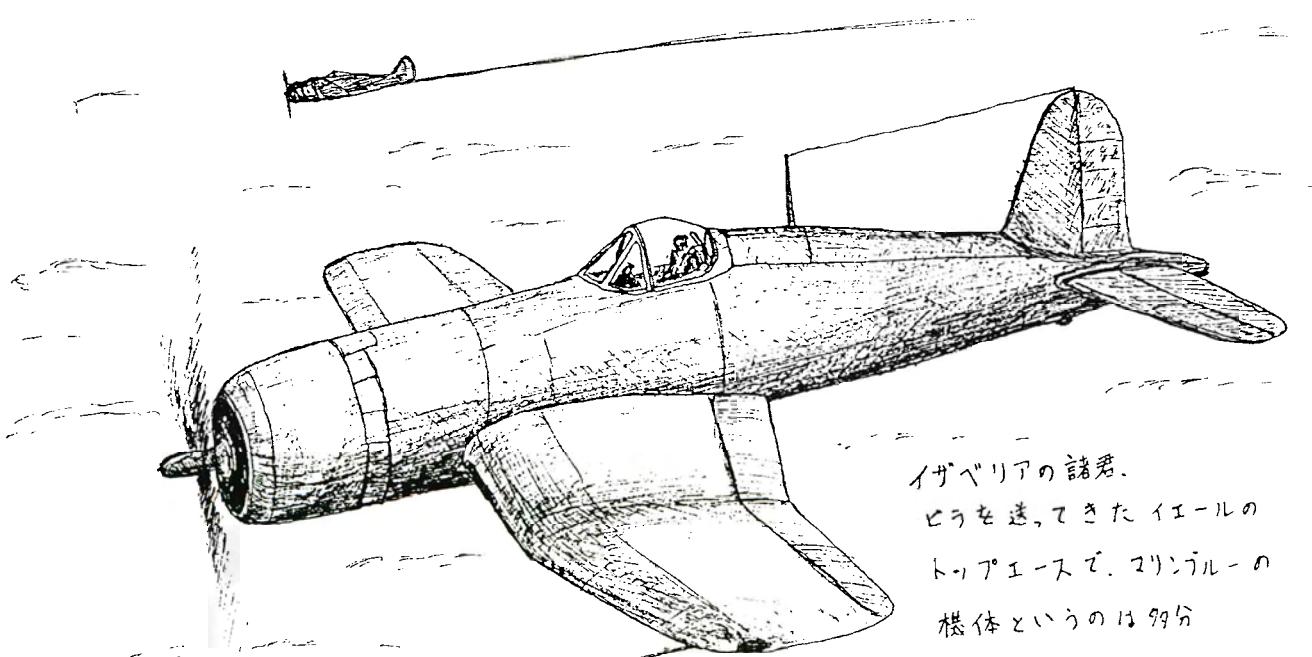


FÜRSTENTUM
ISABERIA
MARINEN
FLIEGER
TRUPPE.

第10回結果発表！



イザベリアの諸君。
どうを送ってきた イエールの
トーフエースで、コリナルの
機体というのは多分
F-40コリセアのことだろ。
見つけたらみとめで撃墜
してやろ！

☆戦況報告

日向中将：（休暇後）温泉のつかり心地はどうだったかな？心身共にさぞかしリラックスしたことだろう。また、これで隊内のリレーションシップが高まれば言うことなしだが。さて、それでは情報部がまとめた戦況の報告を行おう。

ありていに言って、あまりナイスとは言い難いな。ドイツから導入した28mm砲装備のことだ。列車砲部隊が島に到着して、いよいよ砲撃を始めようとした途端、連中は姿をくらましてしまったのだ。たまたま日本軍が、イエール本土へ逃げ帰る連中を見つけてくれたからよかったが……。

ようやく正規軍の基地航空隊（及び、N P C部隊：マスター註）に、従来機に代わって「震電」が行き渡り始めたこともあって、イザベリア軍の実力向上には目を見張るものがある。一部部隊へのH e 2 8 0の導入も大変結構。まことに有り難い限りだ。しかし心配なのは、このドライゲゼツツ島の迎撃戦にイエール本土に上陸していた戦力の半分近くを移してしまって、本当に大丈夫なのだろうか、ということだ。今回の捕獲品から、敵はイザベリア陸軍のタイガー戦車の88mm砲を上回る破壊力をもつ、90mm砲を備える戦車を既に戦力化していることもわかった。名称は「パーシング」らしい。まったくこの先どうなるやら……。

☆次回作戦

中将：大佐、次の作戦を説明してくれ。

若堂大佐：F B Sの者はこれから島を南下してイエールへ入り、「イエール革命軍」とやらとの戦闘にてこずっている陸軍の支援を行う。正規軍から得た情報を総合すると、これに参加する者で新しく機体を買う場合は、火力を重視して買った方がよさそうだ。統領力はさほど要らないようだからな。特にH s 1 2 9やF w 1 9 0は装甲、火力ともに申し分ない。対戦車戦がメインとなるから、とにかくそのことを考えに入れるように。

F I S及びF E Sは、「革命軍」の戦闘機を相手にする訳だが、こちらは大した事はない。貴官らの腕ならひとひねりだろう。適当にいたぶってやれ。

空母の者はイエール軍の空母艦隊が米軍と合流するのを阻止する。米軍ほどではないにせよ、手強い相手である事は確かだ。気合を入れてかかる。

◇今回の編成

《基地》

1st F I S … 護衛…第1波	2nd F I S … 護衛…第2波	3rd F I S … 護衛…第3波
1st F E S … 護衛…第1波	2nd F E S … 護衛…第2波	3rd F E S … 護衛…第3波
1st F B S … 爆撃…第1波	2nd F B S … 爆撃…第2波	3rd F B S … 爆撃…第3波

《空母（註1）》

V F (Det. 1) … 空母直衛 V F (Det. 2) … V B / T 護衛

V B … 爆撃（急降下、九九艦爆のみ） V T … 爆撃（雷撃：註2）

註1 … 零戦、烈風、九九艦爆、九七艦攻、及び天山のみ参加可。

註2 … 九七艦攻、天山のみ参加可。

作戦参加者の状態 (SD:撃墜機数 BS:爆破目標数 SP:スコア OP:作戦参加回数)

プレイヤー	Sqn.	乗機	愛称	キャラクター名	S	D	B	S	S	P	O	P	階級	状態	機体
押当麻	2	I 1 9 0	シャーマンマジック	ディードリット		1	0	4		2	准尉	生還	無傷		
	1	E 烈風	バストエンペラー	恭塚 まさ子									中佐	戦死	
	F 1	0-32	サンバウロのコヒー ^費	小野田 寛郎									准尉	事故	
	F 1	0-32	塩くれ！	横井 庄一									准尉	事故	
	F 2	0-52	Zガンダム	ルー・ルカ		1	0	1	2	4	少尉	生還	少破		
森原崇	1	I 0-32	復讐の火炎魔神	神 亜由美									中尉	戦死	
	3	E 0-32	ハロ	フラウ=ボウ									准尉	生還	無傷

	3 E	双戦	桂冠詩人	ベルフィービー	0	0	7	3	少破
	3 B	飛燕	きゅべれい♥	エルピー・ブル	0	0	1	2	生死
	3 B	1 9 0	ブルガニア7	エループライス	0	0	3	7	中破
	V B	九九爆	アウトサイダー	御里 健太郎	1名			1	少破
遠藤誠	2 I	0-32	HELD	カール・グスタフ	0	0	3	2	無傷
	2 I	0-32	MOND	月影 将人	1	0	4	2	無傷
	2 I	1 9 0	SONNE	エイゼル・シュパングラー	1	0	1	5	中破
	2 E	鍾馗	有明	小沢 治三郎	0	0	5	3	少破
	2 E	鍾馗	東風	岸岡 周一郎	1名			1	少破
木下博明	2 E	鍾馗	とうかい 8 1 A	佐藤 明				中尉 戦死	
	F	1 0-32	CRANIALES4	N. trigeminis				准尉 生還	無傷
	F	1 0-32	CRANIALES5	N. abducens	0	0	7	2	無傷
	F	1 0-32	とうかい 8 3	白雪 明美	0	0	2	2	無傷
	V B	九九爆	とうかい 8 2	赤城 奈津子	1名			准尉 生還	少破
井村和正	1 E	0-32	見敵必殺号	マルダース	1	0	6	3	少破
	3 B	1 1 0	ツェルステラー	ショボーン	1名	1	1	1	死
	3 B	九九爆	炎の爆撃屋	赤根 武士	1名			少尉 軽傷	中破
P · TAN	F	1 0-32	カイザー・H	ハス・フヤ・行方	0	0	4	3	少破
	F	1 0-32	禪龍神	風車 麗綺				准尉 生還	無傷
	F	1 0-32	セント・ラバト・ライス	リーナ・ガガエル				准尉 生還	無傷
鈴木敬純	2 I	0-32	台北航空隊	西沢 義広	1	0	3	2	少破
	2 I	鍾馗	-	徐庶 元直	2	0	3	7	死
	2 I	0-52	台北航空隊	坂井 二郎				中尉 戰死	
吉楽征二	1 E	1 9 0	-	町井・カムイ	0	0	1	1	少破
	1 E	隼	特型駆逐艦	東雲 英治	1	0	2	1	中破
	E	2 0-32	-	沖田 征二	1名	0	3	1	少破
	V B	九九爆	リーベン・ウッド 1	如月 駿	1名	0	1	1	少破
菅原忠幸	1 E	0-32	クラウ・デア・シュツム	アカネ・ミズハラ				中尉 戰死	中破
	1 E	1 9 0	チュウタメイトⅢ	ホーン・チャーフス	0	1	1	8	少破
	2 I	0-32	王虎・リー	リー・ツアイリン	1	0	8	5	少破
	2 I	0-32	王虎・ウォン	ウォン・ジュンクス	1	0	9	5	少破
	2 I	飛燕	流星	リュウ・シキフネ	0	0	2	3	無傷
降矢浩己	3 E	0-32	A-計画任務群隊	九郎衛は高木ボーザ!!	0	0	3	2	少破
	3 E	0-32	A-計画任務群隊	ハーロック	1	0	6	4	死
	3 E	0-32	鋼鉄双葉山	飯田博士				中尉 戰死	無傷
	3 E	疾風	A-計画任務群隊	ミッターマイヤー	1名	0	2	6	死
	3 B	九九爆	A-計画任務群隊	龍巻のびー	1名	0	0	6	少破
	3 B	九九爆	A-計画任務群隊	石見 直子	1名	0	1	5	死
	3 B	九七攻	A-計画任務群隊	降矢 浩己	1名	0	2	5	無傷
				ジョージ山本	II			中尉 戰死	
中西義勝	3 I	鍾馗	機動部隊	南雲 忠一	0	0	0	3	大破
	F	2 0-32	1 国	慶廣 雄	1	0	0	2	中破
	F	2 0-32	第一航空戦隊	瀬田 美津雄	1名			中尉 戰死	少破
	V B	0 0 爆	2 国	津輕 為信	0	0	4	2	無傷
	療養	1 1 0	若宮	和田 秀穂	1名			准尉 軽傷	死
中居浩一	2 I	鍾馗	スチュート20	イヴァン・カベリ	1	0	7	4	少破
	2 I	1 9 0	ケロヨン	高辻 陽介	0	0	4	3	無傷
	2 E	0-32	カンセコ 4 0	大槻 利剛				准尉 生還	死
	3 E	0-32	ライアン5000	川下 智洋				中尉 戰死	
	3 B	0-32	エンターワン1000	ハロー・マック				中尉 戰死	

藏田昌弘	1 E	0-32	DANGER	林原 優子	0	0	2	2	准尉生還少破
	1 E	飛燕	-	西恩寺 明	1	0	1	3	7 少尉生還無傷
	1 E	疾風	ボールは友達	大空 翼					少佐戦死
河村芳行	2 I	190A4	-	エリック・ハルトマン					大尉戦死
	2 I	飛燕	-	立花 葦月	2	0	1	9	7 少尉軽傷少破
	2 I	飛燕	-	河原 雪華	1	0	2	2	7 少尉生還無傷
阿曾喜徳	2 I	0-32	羊蹄1号	簗田 勝利	0	0	4	3	准尉生還中破
	2 I	0-32	羊蹄2号	米内 敏藏					中尉戦死
	2 I	0-32	羊蹄3号	細 新吾					中尉戦死
	2 I	鍾馗	羊蹄5号	大牟田 一郎	0	0	3	2	准尉中破重傷
	2 E	0-32	羊蹄4号	岡部 金吉	1	0	4	2	准尉生還少破

☆略号解説

0-32…零式艦上戦闘機三二型 0-52…同五二型 110…Bf110G-4

190…Fw190F-3/Trop 190A4…同A-4

九七攻…九七式艦上攻撃機一二型 九九爆…九九式艦上爆撃機二二型

鍾馗…二式単座戦闘機「鍾馗」2型丙 双戦…二式双発戦闘機一一型（架空）

屠龍…二式複座戦闘機「屠龍」隼…一式単座戦闘機「隼」2型

疾風…四式単座戦闘機「疾風」甲 飛燕…三式単座戦闘機「飛燕」1型丙

烈風…十七試艦上戦闘機「烈風」

☆状態欄解説

生還…文字通り 軽傷…ちょっとした怪我 重傷…文字通り。治療費以外無料で休めます

戦死…文字通り 事故…事故死。特進の対象にはなりません

☆機体欄解説

無傷…文字通り 少破…軽いダメージ 中破…少し痛いダメージ 大破…使用不能

墜落…文字通り 墜落…戦闘以外による機体喪失

☆Official Short Story.

日向中将は、便乗してきた天山の機内で思わず唸り声をあげた。眼下の艦隊にはハッキリと、懐かしい艦形の空母が5隻、波を蹴立てて進んでいたのである。「ベギン」以外の4隻はすべて全エレベーターを飛行甲板から舷側に移しているにせよ、その概形は忘れられるものではない。

「鳳翔、赤城、加賀、蒼龍、…飛龍…」

声に出して言ってみる。と、途端に饒舌な正規軍のパイロットが訂正した。

「閣下、お国ではそうかも知れませんが…ここでは順に、ベギン、ジークライヒ、ジーゲリン、アイゼンマオアー、シュツルムと…」

「ああ、そうだったな」彼はうなずいた。「もうあれは連合艦隊のものでは無かったのだったな…」

さすがにその一言には、パイロットも黙り込まざるを得なかった。言葉の裏の、深い感情に気付いたからだ。

着艦進入の間も彼は思案にふけっていた。これらの艦は、帝国海軍が、イザベリアから貴重な超先端技術を手にいれるために、「撃沈」という軍艦最大の恥をかかせてまで米英の目をあざむき、むりやり戦力から引き抜いたものである。日向はそこまでやることの愚を主張し、大本営中駆けずりまわって説いたのだが、かえってそれが裏目にでたようだ。

それにしてもイザベリアへ「左遷」されるとはまた皮肉な…。

天山が着艦した。飛行甲板に軽い身のこなしで飛び降りると、彼は少し前まで「着籠」だった空母の艦橋を見上げた。ふと、「補給が追い着かないから」というんでもない理由でイザベリアへ移される（押しつけられる）ことになった、ガダルカナル島の部隊の話が頭に思い浮かんだ。

——この戦争、お国の勝ち目はもはやみじんもあるまい——

そんな思いが、ふと彼の頭をよぎった。

(岬当麻)

訂正

零戦は、2機種ともBombが250kgでした。こないだ出た航空ファンの別冊で確認したものです。いやはや、どうも変だとは思ってたんだけど…。

P C リプレイ

どうやら様子が変だ。日を追うにつれ、「お迎え」の量が減っているような気がしてならない。それはそれとして大変結構なことだが、その減り方が妙に不自然なのである。

ただ変だ、変だとばかりも言ってられないで攻撃は続行されてはいた。

1943年7月31日。

日本軍の哨戒機が、イエール海軍旗をなびかせた空母5隻をメインとする大艦隊がドライゲゼツ島の方へ進撃しているのを発見したことが、イザベリア軍にも伝えられ、脱出作戦が予想外に積極的にすすめられていることがうかがわれた。戦力が再びまとめられてはまたやり辛くなることは必定である。そこで、制空権をほぼ完全に取り返して手空き気味の戦闘機隊にも地上を機銃掃射させて対地攻撃力を増し、効率的に敵の抹殺を図ろうとする試みがなされることになった。

そういう訳で、1BとVB及びVTが一通り爆撃を済ませると、1EとVF Det.2が掃射のために低空に降下した。イザベリア軍の機体は大体20mmを積んでいる為、実に効果的に事が運ぶ。

ところが、信じられない事件が発生した。突如轟く砲声、そして衝撃波。

ことあろうにM26パーシング10台、計10門の90mm砲の最大迎角による斉射である。運悪く烈風の恭塚まさ子、零戦の沖田征二、同じくアカネ・ミズハラが直撃弾を受け、言うまでもなく瞬時に壮絶な花火と化した。敵はこれに味をしましたか、バズーカ砲までが上に向けて発射され始めた。

散々な目に遭った第1波は慌てて尻をまくって逃げ出した。何と言っても、命あってのものだねである。Hs129ならまだしも、ただの戦闘機が90mm砲を相手に機銃で戦ったところで、それこそゾウとカマキリだ。当然ながら第2波からはこの危険な賭けは中止された。

翌8月1日、敵基地はもぬけのからと化していた。結局逃げられたのだ……。

休戦交渉が始まったとの情報もボチボチ入り始めている。何はともあれとりあえずイワゲン、短い間だったがご苦労さん。
(本)

※ちなみに例の「エース」はコルセアじゃないです。こないだまでP-38でしたが、今

回から新型の「円盤機」に乗り換えました。

情報部より

I : イエール軍が最近正面戦力に押し出してきた、「新型円盤機」の詳細が明らかになつたので報告する。

名称: F 5 U - 1 (米、ヴォート社製) 単座機 武装: 12, 7mm機銃6門 (機首装備)

最高速度: 捕獲機では 670km/時 機外搭載量: (推定) 約500kg

運動性: 極めて良好 特に失速速度極めて低く要注意

以上

II : わが軍と直接当たると思われるイエールの航空戦力について、最新の情報を発表する。

戦闘機 スピットファイア (各型) 多数 ハリケーン II D 若干数

P - 38 L 10機前後 P - 39 D 若干数 P - 40 K 多数

P 47 (各型) 若干数 P - 51 C 多数 F 4 F - 3 若干数

F 4 U - 1 A 少数 F 6 F - 5 多数 ブーメラン艦 II 多数

F 5 U - 1 80機以上 MB 151 若干数

※正規軍は陸海軍ともかなり早いペースで従来機からF 5 Uに転換中の模様。ただし艦載戦闘機は全機F 6 Fである。

爆 (攻) 撃機 SBD - 3 多数 SB 2 C - 1 C 若干数 TBF - 1 C 多数

B - 17 F 1機 ランカスター 多数 B - 24 H 若干数

B - 25 C 若干数

※正規軍の重爆はすべてランカスターになっている。他は傭兵の使用機。軽爆はSBDを使用。空母部隊の艦爆はSBDとSB 2 Cがおよそ1対3。艦攻はTBFのみである。

III : 同じく、今回こちらに派遣された米軍の航空兵力は次のとおり。

戦闘機 FM (ほぼF 4 Fと同じ) 約90機 F 6 F 約380機

爆 (攻) 撃機 SBD 約20機 SB 2 C 約140機

TBM (F) 約200機

評価: 数の上ではわが軍の約2倍である。全軍一層の奮起をせねばこの戦はかなり苦しいものとなろう。

増援について

日向中将: イエールがアメリカ空母の増援を得たとかなんとか言われているようだが、イザベリアもこれ黙って見ているわけにもいかんので、日本海軍の増援を仰ぐことにした。本官に言わせてみれば、ミッドウェー以来わが軍の戦力はガタ落ちで、たいしてアテにはならんのだが…。とりあえず数だけでもなんとかしよう、というハラだろうな。次の艦を主軸にした艦隊が来る。見ればわかるが、ほとんど連合艦隊の全戦力だ。

空母 翔鶴 瑞鶴 隼鷹 飛鷹 戰艦 金剛 檜名 扶桑 山城

軽空母 龍驤 長門 大和 武藏

艦載機は零式艦戦五二型108機、九九艦爆二二型88機、九七艦攻一二型110機で計306機というところか?アテにならんと思うがなあ。大体、定数来るかどうか怪しいもんだ。まだ戦艦の方がアテにできそうなものだが…。まあ、ここまで米軍に来られると、本土がヤバいからな。彼らも必死なんだろう。

…やあ、それから龍驤と鳳翔が交換されるそうだ。元々鳳翔は「縁起物」で借り出しだけらしいんだな。龍驤のイザベリア軍名称は「Sabre (ゼーベル)」といって、「サーベル」の意味だそうだ。ご大層なもんだ。